

まちづくり活動助成事業 ニュース2010

平成22年6月発行 練馬まちづくりセンター

テーマ部門最終報告会&はばたき部門活動企画コンテストが開催されました

6月13日、石神井台地域集会所にて「H22年度まちづくり活動助成事業 公開審査会」と「テーマ部門いきものまちづくり最終活動報告会」が開催され、56名が来場しました。

いきものまちづくりからは1団体が、2年間の活動成果の報告をしました。その後引き続き行われた公開審査会では、はばたき部門より、新規団体3組、昨年度たまご部門で活動した団体2組が加わり、計15組が公開審査に挑んだ結果、全団体が助成の対象となりました。今年度は、全団体の申請総額が助成総額を上回っていたため、各団体の助成継続年数などを考慮して、査定が行われました。

活動企画コンテストが始まる前に、上石神井エリア南部の千川上水緑道を拠点に活動している「まっぴす」の協力をいただきながら、周辺のまち歩きを行いました。昨年度の助成対象となったまっぴすのメイン活動『緑道の樹木移植』のお話などを聴いては、参加者みんなで植物をじっくりと観察。そんな様子を、午後の審査会休憩中に上映しました。



H22年度 活動助成事業 活動企画コンテストの一風景

まちづくり活動助成事業とは…

「まちづくり活動助成事業」は、区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会の実現のために取り組む、区民主体のまちづくり活動への支援を目的とした練馬まちづくりセンターの事業で、平成18年度に始めました。平成18年度は11団体に100万円、平成19年度は15団体に230万円、平成20年度は17団体に310万円、平成21年度は17団体に280万円を助成しています。

活動助成事業の流れ

◆助成部門は3つあり、**はばたき部門**は身近な生活空間の保全改善等のために取り組むまちづくり活動団体、**テーマ部門**は身近な場所で生き物と呼び空間をみんなで楽しみながら創り出す活動団体が対象です。こうしたまちづくり活動をやってみたい、仲間をつくりたいグループの事前学習会等の活動を対象とする**たまご部門**があります。(テーマ部門は今年度は休止中。たまご部門は申請団体を随時募集中です)



はばたき部門

◆申請団体は、公開の場でプレゼンテーションを行い、審査の結果助成団体が決定します。

◆助成を受けた団体は、中間報告会や最終報告会に参加し、自分たちの活動を公開の場で報告。他の団体との意見交換(交流)をおこないます。

審査委員会

委員長	小泉 秀樹	東京大学大学院准教授
副委員長	朝倉 暁生	東邦大学准教授
	佐谷 和江	NPO法人まちづくり情報センター かながわ理事、技術士
	中村 忠昌	(株)生態計画研究所 主任研究員
	阪西 淳史	元練馬まちづくりセンター運営協議会委員
	武田 実代子	元「(仮称)練馬区まちづくりセンター検討会議」公募委員
		元練馬区まちづくり条例区民懇談会委員
	黒田 叔孝	練馬区環境まちづくり事業本部 都市整備部長
	福辺 邦男	(財)練馬区都市整備公社 事務局長

6月13日の公開審査会では、中村委員と黒田委員は都合により欠席されました。

(平成22年6月現在、敬称略)

活動企画コンテスト「はばたき部門」審査結果

今年度は15団体が公開審査に挑んだ結果、全団体が助成対象となりました。これまでいつもエントリーしていた団体が、助成に頼らず活動をしていけるまでになったこと、それに替わって、新しい助成団体が上位に位置づけていることより、ねりまのまちづくり活動に新陳代謝がみられると審査員の間で評価されました。また、団体同士の横のつながりも見受けられたことは、より活動に広がり期待できそうです！

順位	グループ名	点数計/180	得票数	申請額 (円)	決定金額 (円)
1	ネリマ・ベジタブル・カフェ	136	6	166,200	150,000
2	まっぷす	132	6	136,500	136,500
3	アーティスト・イン・児童館 実行委員会	129	6	204,900	200,000
4	公園づくりの会	128	6	296,400	296,400
4	光が丘まちづくりフォーラム	128	6	218,835	200,000
6	南田中のまちを考える会	123	6	186,200	180,000
7	泉新小あそびの城 実行委員会	119	6	137,350	100,000
8	ねりま・ごみフォーラム	127	5	266,000	200,000
9	NPO練馬国際振興協会	124	5	229,690	160,000
10	自然環境ねりまくらぶ	117	5	142,400	130,000
11	蝶鳥大好きエコクラブ	113	5	300,000	200,000
12	ねりまエコ・アドバイザー協議会 『生きもの調査プロジェクトチーム』	112	5	300,000	200,000
12	ねりま遊びこどもネットワーク	112	5	300,000	200,000
14	石神井公園再生フォーラム	111	5	299,300	200,000
15	なじみ研究会	115	4	166,600	150,000

※6項目の審査ポイント（地域性・多様な人との連携・区民らしさ・実現性・将来性・審査員独自の視点）をそれぞれ5点満点で採点。合計18点以上の団体に対して、審査員から1票が得られます。票数が多い団体を優先して査定金額を決定しました。



公開審査会が始まる前に行われたまち歩き。
千川上水緑道でまっぷすの説明を受けます



各団体のイベントのチラシや、ニュースレター、リーフレット
がたくさん並びました！（石神井台地域集会所会場にて）

今後の予定 中間報告会について

今回助成を受けることになった団体の、活動の進捗状況の報告を行う中間報告会を平成22年11月上旬（予定）で開催します。